

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開実用新案公報 (U)

(11)実用新案出願公開番号

実開平4-113713

(43)公開日 平成4年(1992)10月6日

(51)Int.Cl.⁵
F 01 M 1/06

識別記号 庁内整理番号
A 8109-3G
D 8109-3G
K 8109-3G
F 16 C 3/14 8012-3 J
9/02 8012-3 J

F I

技術表示箇所

審査請求 未請求 請求項の数1(全2頁) 最終頁に続く

(21)出願番号

実開平3-16898

(22)出願日

平成3年(1991)3月20日

(71)出願人 000006286

三菱自動車工業株式会社
東京都港区芝五丁目33番8号

(72)考案者 白石 一洋

東京都港区芝五丁目33番8号・三菱自動車
工業株式会社内

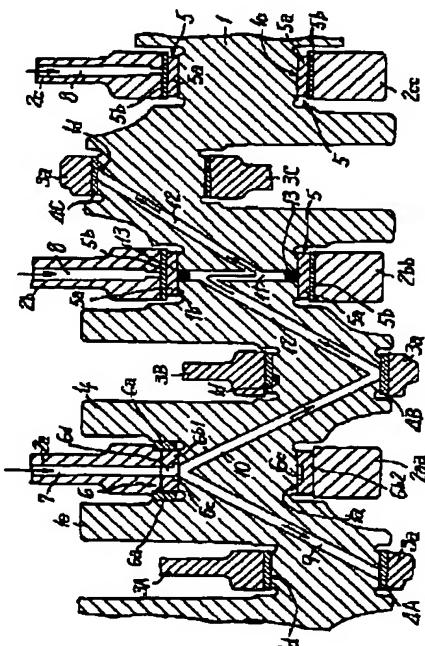
(74)代理人 弁理士 樽山 亨 (外1名)

(54)【考案の名称】 コンロッド・ペアリング潤滑構造

(57)【要約】 (修正有)

【目的】 クランクシャフトをローラペアリングで支持するとき、ブレーンペアリングからなるコンロッドペアリングを確実に潤滑する。

【構成】 クランクシャフト1とシリングブロック2a, 2b, 2cとの間に設けられるジャーナルペアリング(6, 5)の一つを、スラストペアリングを兼ねたブレーン型ペアリングからなるブレーンジャーナルペアリング6で構成し、クランクシャフト1にペアリング6とブレーンコンロッドペアリング4A, 4B, 4Cとを連通するオイル供給孔9, 10, 11, 12を形成し、シリングブロック2aを介してジャーナルペアリング6とクランクシャフト1との間に供給されるオイルを、オイル供給孔9, 10, 11, 12を介してブレーンコンロッドペアリング4A, 4B, 4Cに供給してこれを潤滑することを特徴とする。



【実用新案登録請求の範囲】

【請求項1】クランク・シャフトをシリンド・ブロックに回転自在に支持するジャーナル・ペアリングとしてローラタイプ・ペアリングを用いてローラ・ジャーナル・ペアリングとし、コンロッドを上記クランク・シャフトに回転自在に連結するコンロッド・ペアリングとしてブレーンタイプ・ペアリングを用いてブレーン・コンロッド・ペアリングとしたエンジンにおいて、上記クランク・シャフトとシリンド・ブロックとの間に設けられるジャーナル・ペアリングの一つを、スラスト・ペアリングを兼ねたブレーンタイプ・ペアリングからなるブレーン・ジャーナル・ペアリングで構成し、クランク・シャフトに上記ブレーン・ジャーナル・ペアリングとブレーン・コンロッド・ペアリングとを連通するオイル供給孔を形成し、シリンド・ブロックを介して上記ブレーン・ジャーナル・ペアリングとクランク・シャフトとの間に供給されるオイルを、上記オイル供給孔を介して上記ブレーン・コンロッド・ペアリングに供給してこれを潤滑することを特徴とするコンロッド・ペアリング潤滑構造。

10

20

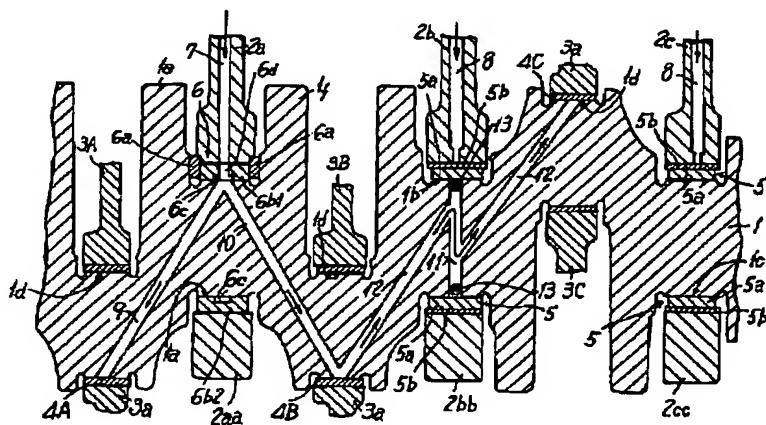
【図面の簡単な説明】

【図1】本考案の一実施例を示すコンロッド・ペアリング潤滑構造の断面図である。

【符号の説明】

- 1 . . . クランク・シャフト
- 1 a, 1 b, 1 c . . . クランク・ジャーナル
- 1 d . . . クランク・ピン
- 1 e, 1 f . . . バランス・ウェイト
- 2 a, 2 b, 2 c . . . シリンド・ブロック
- 3 A, 3 B, 3 C . . . コンロッド
- 4 A, 4 B, 4 C . . . ブレーン・コンロッド・ペアリング
- 5 . . . ローラ・ジャーナル・ペアリング
- 6 . . . ブレーン・ジャーナル・ペアリング
- 6 a . . . スラスト・ペアリング
- 6 b 1, 6 b 2 . . . ブレーン・ペアリング
- 6 c . . . オイル溝
- 7, 8 . . . オイル供給路
- 9~12 . . . オイル供給孔

【図1】



フロントページの続き

(51) Int.CI.⁶

F 16 C 33/10

識別記号 廣内整理番号

Z 6814-3 J

F I

技術表示箇所

BEST AVAILABLE COPY